

丹後学園だより

令和8年7月10日 NO.7 丹後学園事務局 75-0126

学園教育目標

夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、
未来に向けて主体的に生きる子どもの育成

丹後こども園と丹後中学校 合同避難訓練

6月24日、丹後こども園が丹後中学校への水害想定避難訓練を行いました。

こども園水害想定避難訓練（丹後中学校への避難）にあたり、学園の先輩として一緒に避難を行い、園児への安心感を与えるとともに、学園としての交流の機会とする。



当日、こども園の園児が、丹後中学校に来て、中学生が手を引いて3階まで上がりました。（垂直避難）階段を優しく手を引いて上がっていく姿は、優しいお兄さん、お姉さんの姿でした。園児がけがをしないようにやさしく接する姿がありました。



避難訓練の評価が高田園長からあり、その後体育館で中学生が校歌を斉唱し、一緒に「さんぽ」を歌いました。園児は、中学生の歌声に感動したのか真剣で聞いていました。



最後に、園児との交流を深めるために、中学生が園児と一緒にこども園に帰り、遊ぶ機会を作りました。



この取組は、中学生にとって、園児に接し自分が役立っているという感覚から自己有用感を持つ機会となり、園児にとっては、大きな中学生と接することから将来の見本としてみる貴重な体験となりました。

丹後小学校 経ヶ岬の灯台について学ぶ

6月17日、丹後小学校では、経ヶ岬灯台の見学を行いました。この学習は、昨年度まで宇川小学校で行われていたもので、地域について学ぶ貴重な学習になっています。

事前に、経ヶ岬灯台保存会の小谷将貴様に出前授業をしていただき、灯台の歴史、文化財として貴重なこと、保存会の取組などを教えていただきました。17日には、実際に現地に行き、灯台保存会の方々、海上保安庁の方々など、多くの皆様のご協力をいただき、普段見ることができない灯台内部のレンズなどを見学することができました。灯台までの遊歩道の整

備について、灯台をたくさんの方々に見に来てほしいことなど、保存会の方々の思いについても教えていただきました。



経ヶ岬の灯台は、国の重要文化財に指定されています。フレネル式 1 等 3 連閃光レンズ（国内に 5 か所のみ）を採用し、これは灯台のレンズとしては日本最大級の大きさと第 1 等灯台に指定されています。初点灯は 1898 年（明治 31 年）12 月 25 日 で、A ランク保存灯台で、「日本灯台 50 選」や「京の百景」などに選ばれています。

丹後中学校 和装教育「浴衣の着付け教室」

和装教室の目的

- ① 「きもののまち京丹後」の学校に通う生徒として、中学校家庭科学習指導要領に基づいて和装教育に取り組み、和装文化に関心を持たせるとともに、和服の基本的な着装ができるようにする。
- ② 次代を担う中学生が和装教育に取り組むことで、「きもののまち京丹後」をより理解し、郷土への誇りと愛着をもつ機会とする。



6 月 29 日、丹後中学校では、2 年生が丹後和装教育を進める会の方々にお世話になり、「浴衣の着付け教室」を行いました。

最初、浴衣の歴史や男性と女性の着付けの違いなどを学び、実際に浴衣を着てみました。

子どもたちは、特に帯の結び方が難しく、四苦八苦して結んでいました。結ぶことができたときは、「やったあ、できた。」という達成感の気持ちが表れた

表情をしていました。なかなかできない貴重な体験をすることができました。

SNS 研修会 便利なものに隠された危険性

7 月 2 日、丹後学園 SNS 講習会を行いました。昨年度に続き、N I T 情報技術推進ネットワーク株式会社代表取締役の篠原嘉一様にお世話になりました。午前中、丹後小学校、丹後中学校で子どもたち対象に、夜は、保護者、地域の方々を対象にご講演をしていただきました。夜の講演会では、54 名の方々にご参加していただきました。夜分、お仕事等でお疲れな

い中ご参加していただき、心より感謝申し上げます。

子どもたちが、普段から使っているスマホ、ゲーム機に潜む危険性や長時間見続けることで悪影響を及ぼすことなどを学習することができました。最後に、トラブルや悩みは、一人



で解決しようとしなくて早めに相談することが大切であるとお話しされました。